



# 環境の森センター・きづがわ建設に向けて

～ “環境の森センター・きづがわ”は、皆さんの日常生活に欠くことのできない施設です～

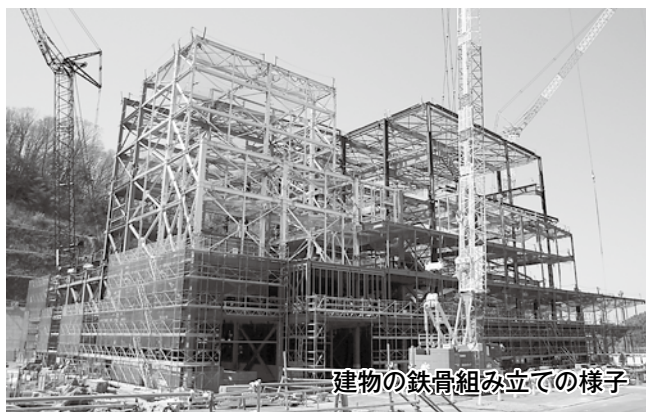
市では、打越台環境センター(精華町内)に代わる新たなごみ焼却施設として“環境の森センター・きづがわ”(鹿背山地内)の建設に取り組んでいます。  
建設現場では、プラント工事が始まっています。

ごみ処理に必要な機器が配置されていくとともに、建築工事も進み、日々、新施設が形作られていくのが実感できます。  
今月は、4月の建設工事の様子をお伝えします。

## 建築工事では、鉄骨を組み立てました

4月の建築工事では、建物の鉄骨の組み立てに続いて、各階の柱や壁、床部分の配筋・型枠工事に着手しています。

特に炉室・機械室部分は、焼却炉などのプラント機器を据え付けますので、それに合わせて建築工事を進めていきます。その他の部分では、概ね鉄骨が組み上がっていますので、木津川の対岸(国道163号)から、建物の姿が見えてきました。



建物の鉄骨組み立ての様子

## 焼却炉ストーカ(火格子)、可燃性粗大ごみ破砕機を搬入・設置しました

プラント工事では、焼却炉ストーカや可燃性粗大ごみ破砕機を据え付けました。

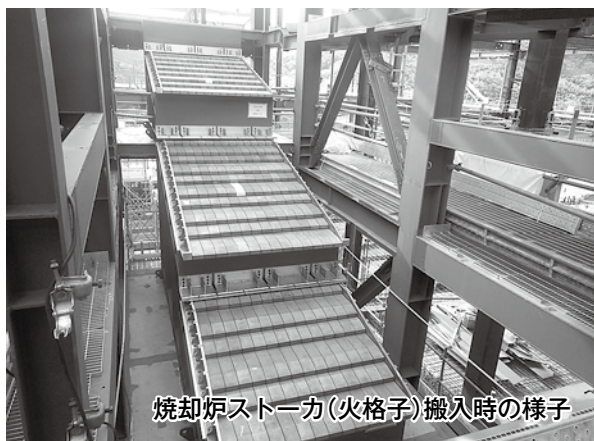
ストーカは、ごみを燃焼させるための装置で、この施設の心臓部にあたります。高温で燃やすことにより、臭気も分解することができます。

可燃性粗大ごみ破砕機は、焼却炉にそのまま投入できない大きさのごみを、処理可能なサイズにまで切断するための機械です。畳などを処理します。

鉄骨やプラント機器の搬入に際しては、道路沿道の皆さんにご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

### 「ストーカ」とは？

火格子を階段状に並べた燃焼装置で、火格子が前後に動くことで、ストーカ上のごみを送りながら、850℃以上の高温で完全焼却させます。ごみ焼却炉の形式は、いくつかありますが、全国的に実績が最も多く、信頼性の高いストーカと呼ばれる焼却炉を採用しています。



焼却炉ストーカ(火格子)搬入時の様子



可燃性粗大ごみ破砕機搬入時の様子

“環境の森センター・きづがわ”の早期稼働に向けて、地元の皆さんをはじめ市民の皆さん、1人ひとりのご理解とご協力をお願いします。